



第14期  
ヤングエグゼクティブ・プログラム  
2023年度 開講

**KAIL**

THE KYUSHU-ASIA INSTITUTE OF LEADERSHIP

## 開催場所 時間

電気ビル共創館

09時30分 ～ 17時00分を基本とします。

※講師、テーマ、時間等は決定次第ご案内致します。)

第1回	9月27日 (水)	セッション 「リーダーシップの旅」 / 寺子屋式リーダーシップ対話
第2回	10月4日 (水)	セッション 「チームビルディング①」
第3回	10月5日 (木)	セッション 「チームビルディング②」
第4回	10月25日 (水)	セッション 「経営戦略基礎」
第5回	11月8日 (水)	寺子屋式リーダーシップ対話 / セッション「アート思考」
第6回	11月29日 (水)	寺子屋式リーダーシップ対話 / 寺子屋式リーダーシップ対話
第7回	12月13日 (水)	セッション 「チームビルディング③ 中間発表」
第8回	1月17日 (水)	寺子屋式リーダーシップ対話 / 寺子屋式リーダーシップ対話
第9回	1月30日 (火)	セッション 「財務会計基礎」
第10回	1月31日 (水)	セッション 「マーケティング」
第11回	2月14日 (水)	寺子屋式リーダーシップ対話 / セッション 「リーダーシップ」
第12回	2月28日 (水)	セッション 「イノベーション」
第13回	3月13日 (水)	セッション 「チームビルディング④最終発表」 ※修了式

## 受講環境

### セッション



### 寺子屋式リーダーシップ対話



## 2022年度講師実績

### セッション

#### 「経営戦略基礎」

井上 潤吾 氏  
株式会社ポストコンサルティンググループ  
マネージング・ディレクター&シニア・パート  
ナー  
福岡オフィス代表



#### 「リーダーシップの旅」

隈本 直樹  
九州・アジア経営塾  
碧樹館プログラム  
プログラム・ディレクター



#### 「チームビルディング」

齋藤 秀樹 氏  
株式会社アクションラーニングソリュー  
ションズ  
代表取締役



#### 「なぜビジネスシーンにアート 思考が求められているのか」

田村 馨 氏  
福岡大学商学部 教授



#### 「財務会計 ～入門～」

西山 茂 氏  
早稲田大学ビジネススクール 教授



#### 「JOB 理論」～顧客の JOBを解決する～

早嶋 聡史 氏  
株式会社ビズ・ナビ&カンパニー  
代表取締役社長



#### 「企業におけるイノベー ションの推進力学」

本間 善丈 氏  
株式会社 Shippio Marketing Director



### 寺子屋式リーダーシップ対話

#### 「捨てない未来の先の 未来を見据えて」

岩元 美智彦 氏  
株式会社 JEPLAN 創業者/取締役 執行役  
員会長



#### 「だれもが何度でもやり 直せる社会をつくる」

川口 加奈 氏  
認定NPO法人 Homedoor 理事長



#### 「共感から始まる地方創生」

西村 勝 氏  
久山町長



#### 「組織を越えたつながりに よる共創と変革」

濱松 誠 氏  
One Panasonic 発起人/ONE JAPAN  
共同発起人・共同代表



#### 「なんのために勝つのか」

廣瀬 俊朗 氏  
株式会社 HiRAKU 代表取締役



#### 「コロナ禍のリーダー シップ」

山崎 大祐 氏  
株式会社マザーハウス 代表取締役副社長



#### 「スイッチが入った瞬間」

吉村 拓二 氏  
株式会社ふくや 支援部執行役員部長  
第4期碧樹館プログラム卒業生



## 【 プログラム趣旨 】

近年、激変する世界、未だ道筋の見えない様々な社会問題、毎年起こる大規模自然災害、DX化による産業構造の変化等、国内外を取り巻く環境は日々大きく変化しています。これらに順応するためには、**既存の価値観にとらわれない発想力、道なき道を切り拓く行動力のある真のリーダー**が求められます。

九州・アジア経営塾では、2010年より主幹プログラム（碧樹館プログラム）よりさらに若い世代を対象に本プログラムをスタートし、14期目を迎えます。自分自身と向き合い、多角的な視点で議論を重ねながら、次世代を切り拓くリーダーに必要な志や知恵を教授するために、各界のトップランカーにご登壇頂きます。

## 【 チームビルディング 】

若手ビジネスパーソンが社会や市場の変化に適応し、自社自組織の問題解決に取り組むための継続型ワーク形式セッションを今年度も導入致します。若手リーダーとして、フォロワーとして必要なスキルを習得し、実務における成果を目的とします。

知識や実践知が学べたことをもって満足したり、プログラム修了をもって満足することなく、プログラム期間中体系化されたチームビルディングメソッドを用い、インプットから実践まで試行錯誤を繰り返し、研修チームや職場メンバー同士で議論を重ね、成功体験を積み重ねていくことで習慣化し、当事者として意識改革、組織改革を行います。

## 【 プログラムテーマ 】

# “ 自らの殻を知り、破り、創造と実践へ ”

## 【 開講目的 】

### ① 「知らないことを知る」 ～無知の知を知る～

- ・次世代リーダーとしての学び方を学ぶ
- ・各界の経営者、プロフェッショナル講師から実践知を学ぶ

### ② 「私（個）から 私たちへ」 ～多様性を集合知へ～

- ・個の力を、Teamとして集合知へ包含する
- ・リーダー、フォロワーとしてのTeam Building を実践する

### ③ 「組織人として目標を定める」 ～学びを知恵に変え、知恵を行動へ変える～

- ・組織人として成長成果を組織へ還元（貢献）する
- ・自らのやりたいこと（will）を決意表明する

## 【 期待する塾生像 】

### ■目的意識

自らの成長を求め、「課題」と「自覚」を持ち、積極的に臨める人財

### ■当事者意識

自分事として捉えられ、努力を惜しまず「学びの場」に積極的に参画できる人財

### ■実践力

「学び」を現実に生かす「知恵」に変え、失敗を恐れず、実践できる人財

## 【 募集要項 】

募集人員 36名 (1社2名を上限)

対象者 ◆将来の上級管理職、経営幹部として期待される人財  
◆満38歳以下(今年度39歳になる1984年4月2日～1985年4月1日生まれまでの方)  
◆役職不問

受講料 600,000円(税込)

予約期間 2023年6月1日(木)～2023年7月31日(月)  
※派遣者決定の前に必ず予約申請を完了ください。(予約枠36口で受付終了致します)

【Googleフォーム】

予約方法 Googleフォームより、お申込みをお願い致します。



予約後申請 派遣者決定(人選)は、2023年8月31日(木)までをお願い致します。

その他

- ・予約枠に達し次第、募集を終了致します。(先着順)
- ・初回セッション以降の派遣者変更は、お断りいたします。
- ・受講料の中に、課題図書代も含まれており、別途配布致します。
- ・開催日時、開催場所を変更する場合があります。
- ・SLACK、DROPBOX、電子メールを利用します。
- ・受講に際して、インターネット環境を各自で整備頂きますことをご了承ください。

## 【 2022年度13期修了生 ～受講を終えて～ 】

### 今後、自分自身とどのように向き合っていけますか。



株式会社ふくや  
製造部製造課  
牛島さん

私の「殻」は、自分事として本気になることを避けていたことです。「誰かから求められていること」を私がすべきことと思い込み、Beや責任も私の「外」に置いていました。また、「求められていること」も自己都合で解釈していました。自分自身と周囲のBeを共有するためのコミュニケーションを怠らず諦めず、内外に目と気持ちを向け「私だからできること」を実践していきます。



有限責任監査法人トーマツ  
シニアマネジャー  
久留島さん

私にとっての殻は、所属チーム及びメンバーやクライアント等に対する興味・関心しかなかったことです。組織全体が生み出すことができるインパクトや抱える課題など、このプログラムを通じて 組織に対する興味関心とより良くするための行動が生まれました。やりがいや可能性を感じるためにも他部門とのクロスファンクショナル業務の推進、部門が交わるための接点作りなどに取り組んでいます。今後も組織全体をどう動かしていくか、良くしていくかを考え行動していきます。



武井電機工業株式会社  
専務取締役  
松本さん

「本気でぶつかる」ということが私の殻でした。本プログラムを通して、研修の中でも職場の中でも自分の想いを相手にぶつけることでしか変化を起こすことはできないことを感じました。この殻は行動を起こし続けられない限り、すぐにまたできてしまうものだと思います。常に周りの仲間や会社のことを本気で考えて、自分の想いをきちんと伝えるまで伝えること、言葉だけでなく行動を起こし続けることで殻が生まれないように向き合っていきたいです。

## 【 2022年度13期修了生 ～受講を終えて～ 】

プログラムを終えて、自身の「心持ち」や「行動」にどのような変化がありましたか。



西部ガスホールディングス株式会社  
経営企画部  
荒木さん

一番の変化は、自分のリーダーシップスタイル（メンバーそれぞれが“自分らしさ”を最大限発揮して輝けるよう、そっと手を差し伸べたり、最初の一歩を後押しする身近な応援者）に自信が持てたことと、Do偏重からBeを重視するようになったことです。研修チームメンバーからの温かくも厳しい本音のフィードバックを継続的にもらったことと、様々なリーダー達と出会い彼らを鏡に自身と徹底的に向き合えたことが変化の理由だと考えています。



株式会社西部技研  
プロダクトマネジメント本部設計課  
中島さん

本プログラムを終え、心持ちの変化としては、学ぶ姿勢から活かす姿勢に変化したことです。半年前は学びたいという前向きな気持ちはあったものの、それをどうしたいという意識までには及んでいなかったです。セッションを重ねる中で、この学びを自社にどう活かすか？という意識が生まれたことは、視座が高まった証左であり、自身として、大きな一歩だと感じています。



エコー電子工業株式会社  
事業推進部総務課  
山本さん

Lead the self(自らをリードする)という考えが不足していたと感じたので、自分の意志や人生の大義を考えるようになりました。寺子屋式の講義で登壇頂いた講師皆さんに共通していて、自分の人生は自分で動かすべきだと思うようになり、日頃から自分の考えや意志をメモするようになりました。

人財の森をつくる。

# KAIL

特定非営利活動法人九州アジア経営塾

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82電気ビル共創館7階

TEL : 092-726-1861 FAX:092-726-1869

E-mail : [info@kail.jp](mailto:info@kail.jp)